

1

とみおか みつお

富岡 光男（東京少年補導員等友の会連合理事）

（東京都練馬区）警視庁推薦

【活動概要】

昭和62年活動開始。

街頭補導活動、非行少年の立ち直り支援活動、街の美化活動の他、農業による少年の居場所づくり活動等

【評価理由】

農業による少年の居場所づくり活動に特化して非行少年の立ち直りとともに非行少年を生まない社会づくりに貢献。

街頭補導活動、非行少年を生まない社会づくりにおける立ち直り支援活動、少年非行防止活動、清掃活動等への支援を継続して推進している。

都内で体験させることが難しい苗植えから収穫までの各工程を熱心な指導の下、継続してボランティア参加少年らに体験させる、「農業による少年の居場所づくり活動」を展開し、非行少年の立ち直り支援に貢献している。



サツマイモの植え方を説明している様子



少年に農作業を指導する様子

2

おおごだしげお

大胡田茂夫（静岡県障害者スポーツ指導者協議会）

（静岡県沼津市）静岡県推薦

【活動概要】

昭和51年に活動開始。

沼津市原地区センターで、毎月、老若男女の健常者、障害のある方とスポーツを実施し、昭和51年から県内の障害者スポーツ指導員の養成を継続している。

【評価理由】

障害のある子供・若者のスポーツ指導及び障害者スポーツ指導員の養成に大きく貢献。

平成7年から20年以上にわたり、静岡県障害者スポーツ指導者協議会会長として、福祉とリハビリの観点から障害者スポーツの指導と指導者の育成に尽力した。

全国（身体）障害者スポーツ大会静岡県選手団監督やソウルパラリンピック大会日本選手団役員（陸上競技コーチ）として障害者スポーツの発展に大きく貢献した。



東部障害者スポーツクラブでの様子



クラブ活動の一環でハイキングの様子

3

さっぶ たい
SAPジュニア隊

(佐賀県西松浦郡有田町) 佐賀県警察本部推薦

【活動概要】

平成16年活動開始、団体構成員25名。

子供たちの視点で安全・安心な街づくりのため、体験プログラムの実施などにより、子供の健全育成を図っている。また、SAPジュニア隊のメンバーである子供たちが、有田陶器市等のイベントにおいて、地域のパトロール隊とともに防犯パトロールを実施している。

【評価理由】

子供達が自ら安全で安心なまちづくりを考え行動している。明るく活力ある地域づくりに貢献。

本団体は、有田地区少年補導員連絡協議会女性部会によって結成され、体験プログラムを策定し、地域で発生している身近な犯罪の抑止及び少年の健全育成を図る活動を実施してきた。活動を通して、少年自身の規範意識の向上、社会全体で少年を見守る気運の醸成に大きく貢献している。



盲導犬募金活動の様子



町内歴史深訪の様子

4

かんさいだいがくにんげんけんこうがくぶやすだ
関西大学人間健康学部安田ゼミ

(大阪府堺市) 堺市推薦

【活動概要】

平成22年活動開始、活動構成員41名。

大和川の水辺を利用して子供の自然体験の企画・運営、学生ボランティアの派遣等全面的に参画。また、堺市の子供と田辺市民が交流する「熊野本宮子どもエコツアー」を実施している。

【評価理由】

学生ボランティアが、地域と密接な関係で協働した取組を創出し、体験学習を通じて子どもたちの成長に大きく貢献。

「熊野本宮子どもエコツアー」は堺市の小学生、田辺市の地域住民が交流する新しいスタイルの体験学習環境教育プログラムであり、両市が友好姉妹都市となる契機となった。

実践研究を進める学生達が主となり、大学の地元堺市、ツアーで行く田辺市と現地NPO、観光プロモーション団体と連携して企画・運営を行っており、関係者全てがWin-Winとなる取組事例として先駆性がある。



熊野本宮子どもエコツアー
(トレッキング)



熊野本宮子どもエコツアー
(水生生物観察と川遊びの注意説明)

5

とくひろ ちかとし
徳弘 親利

(広島市青少年健全育成連絡協議会副会長)

(広島県広島市) 広島市推薦

【活動概要】

昭和40年頃から活動開始。

地域住民から慕われ、信頼されるリーダーとして、住民同士の絆づくり、地域コミュニティ形成のための様々な活動を展開している。

【評価理由】

地域の中で、世代や国籍を超えた多文化共生の街づくりに貢献。

基町地区は、住民の約2割が外国人で外国人の割合が高く、小学校児童の約6割が外国にルーツをもっている地域であるところ、そうした地域特性を踏まえ、強力な指導力・行動力・統率力の下で、地区全体が一つ家族となって人情味に満ちあふれた強固なコミュニティが形成され、多文化共生の街づくりを推進した功績は大きい。



「基町、昔の写真展」でマスコミからの取材



ほのぼののカップ将棋大会の記念撮影

6

さかもと つるよ
坂本 津留代

(神戸西少年補導員連絡協議会)

(兵庫県神戸市) 兵庫県神戸西警察署推薦

【活動概要】

平成12年活動開始。

防犯パトロール等の子供を犯罪被害から守るための活動

【評価理由】

創意工夫した活動を16年にもわたり継続的かつ積極的に活動。

小・中学生による防犯パトロール組織を発足させるとともに、自らも防犯パトロール等の子供を犯罪被害から守るための活動を長期間にわたり展開している。

子供の薬物事案防止のため、薬物の影響がわかる人体パネルを自ら作ったり、「まちの点検活動ウォークラリー」を開催したり、独創性のある活動を精力的に実施し、地元のみならず全国の団体等の模範となる様々な取組を企画・展開している。



小学生による防犯組織との合同パトロール



区民まつりにおける補導パトロール

7

うちやま
内山

けいこ

恵子（佐賀県警察被害少年サポーター）

（佐賀県唐津市）佐賀県警察本部推薦

【活動概要】

平成11年活動開始。

少年非行、不登校、虐待など少年問題全般に関する相談・支援活動。青少年の心の教育を目的とし、幼稚園、小学生、中学生を対象とした本の読み聞かせ活動を展開している。

【評価理由】

長年にわたる青少年の非行防止及び健全育成にかかる活動に多大に貢献。

保護者や少年から相談があれば、昼夜問わず少年や保護者のために尽力し、必要に応じて訪問支援を行っている。

絵本の読み聞かせのボランティアの会を立ち上げ、児童等から親しまれており、また、そこで知り合った子から打ち明けられた悩みにも対応している。



小学生への絵本の読み聞かせ



被害少年サポーター研修会の様子

8

かすかべしりつかすかべちゅうがっこう か ぶ え
春日部市立春日部中学校 K A F E

（埼玉県春日部市）春日部市教育委員会推薦

【活動概要】

平成15年活動開始、団体構成員1050名。

国際交流活動

【評価理由】

学校・保護者（PTA）・地域ボランティアが一体となり、春日部中学校姉妹校交流推進委員会（通称KAFE）を組織し、国際交流を推進している。

地域におけるホームステイ受入先が多数あるなど、地域の関心度や協力体制が確立されている。学校・PTAだけでなく、地域を巻き込み、生徒の国際交流を応援している点が評価できる。

KAFEの活動である姉妹校交流などとおして、春日部中学校の生徒が、見聞を広め、国際感覚を身につけている。さらに、姉妹校交流の参加者は、その後も交流を続け、お互いの国の文化交流を図っている。

KAFE : Kasukabe Junior High School and Aldridge State

High School Friendship Exchange



ホストファミリーと一緒に



授業交流の様子

9

よこやま あきら
横山 明

(高知地区少年補導員連絡協議会少年指導委員)

(高知県高知市)高知県警察本部推薦

【活動概要】

昭和61年から活動開始、個人。

子供達の「食の自立」を目指して食育教室を実施。地域の大人と子供の交流をはかる「地域ぐるみの活動」を展開。長年継続している「江ノ口まつり」事業は、地域をあげての一大行事となり安定した活動となる。

【評価理由】

「地域に貢献できる少年を育てる」との強い熱意を持って体当たりで活動。

少年警察ボランティアとして少年の健全育成に携わっており、常に地域の少年健全育成団体や各種事業所に働きかけ、伝統継承活動や創作活動等を率先して企画し、長期間にわたり地域住民ぐるみの活動を推進してきた。



食育教室の様子

10

がっこうほうじんしょうとくがくえんきゅうしゅうどうぶつがくいん
学校法人昭徳学園九州動物学院

(熊本県熊本市)熊本県推薦

【活動概要】

平成16年活動開始、団体構成員53名。

人と人との間に動物を介在させることで会話を活性化させ、コミュニケーションを円滑にさせる「動物介在活動」を地域に展開させている。

【評価理由】

「動物介在活動」等を通じて、訪問する施設に笑顔や優しさを届け、地域の元気に貢献。

日々動物の事を学んでいる学生達だからこそ、「動物介在活動」として動物とのふれあい活動を展開させ、地域に明るく前向きな雰囲気作りのきっかけを与えている。

生徒達も交流を通じて、思いやる気持ちや弱者への優しさなど、人としての人格形成を構築している。



動物との触れ合いを教えている様子



撫でてあげようと手を伸ばす対象者

1 1

ごとうやすのり

後藤泰範（大分市子ども会育成会連絡協議会会長

大分県みどりの少年団育成連絡協議会副会長）

（大分県大分市）大分県推薦

【活動概要】

昭和55年から活動開始。

「リーダー研修会」、「ジュニアリーダー研修会」を毎年実施するほか、「緑の募金活動」や地元企業の協力・支援を得ながらリサイクル活動環境学習や植林活動等を行っている。

【評価理由】

長年にわたり大分県内の青少年団体を牽引し、地域の青少年育成活動に大きく貢献している。

多くの青少年育成関係団体において、最高責任者等としてリーダーシップを発揮しており、県内の各関係団体相互の連携・協力や交流が円滑に進められている。



「屋久島自然体験研修」出発式



大分県みどりの少年団のつどい

1 2

にしかわまち

げんき

かい

げん

西川町を元気にする会“GEN”

（山形県西村山郡西川町）山形県西川町推薦

【活動概要】

平成23年に活動開始、団体構成員は22名。

20代を中心とした若者たちによる、西川町における「夏の陣」「冬の陣」と銘打ったイベントでは、夏は地元の湖でのカヌー体験、冬はブナ林の中でスノーシュートレッキングといった町の自然を活かした体験イベントを開催。また、歴史ある地域行事、スポーツ大会、ボランティア活動等を実施している。

【評価理由】

若者の力で町に活気を呼び込み、西川町の元気づくりに大きく貢献。

会の目標には、「地域を元気にしたい」を掲げ、多くの若者を巻き込みながら、地域の各種行事への積極的な参加が認められる。

世代や地域を超えた交流活動で幅広い世代が関わりを持てるような場面を創出し、地域に大きな活力を与えている。



西川夏の陣（集合写真）



活動に向けての打ち合わせ風景

13

にんぎょうげきだん

人形劇団 こんぺいとう

(山梨県山梨市) 山梨県推薦

【活動概要】

昭和61年に活動開始、団体構成員は11名。

市町村の図書館祭りでの公演をはじめ、幼稚園、保育所、子供フェスティバルなど定例化したものや、単発的な依頼などで年間約30公演を行うなど、活発に活動している。

【評価理由】

子供たちの笑顔に会えることを目標に、手作りで、公演活動を30年間継続し、現在も年間約30公演を開催。

農家の主婦7人が生の人形劇を子供たちに見せたいとの思いで立ち上げた劇団であり、地域に伝わる民話を題材に家族愛・友情・地域の愛着を訴えている。

舞台はすべてが手作りで、保護者や保育士など多くの人々の共感を呼び、新たな人形劇サークルを立ち上げるグループも現れるなど、教育現場に影響を与えている。



市内保育所での定期公演の様子



市主催「夏休み子供祭り」での公演

14

うえのさる こおどりほぞんかい

上野猿の子踊り保存会

(鹿児島県指宿市) 鹿児島県推薦

【活動概要】

平成元年活動開始、団体構成員18名。

鹿児島県指宿市開聞上野地区に江戸時代から受け継がれてきた無形民俗文化財である「猿の子踊り」を地域の子供を踊り手として保存継承活動を行っており、地域の文化祭や敬老会、郷土芸能祭で毎年披露している。

【評価理由】

地域の伝統芸能を軸に、異世代交流を進め、地域の青少年育成活動に大きく貢献。

踊り手となる子供達は、祖父母ほど年齢の離れた大人達から踊りの指導を受けている。異なる年代の子どもと大人が協力しながら練習を重ね、一つの踊りを完成させるプロセスの中で、他人を思いやる心や、郷土を愛する心が育まれ、異世代交流及び地域の青少年育成活動に大きく貢献している。



猿の子踊り



猿使いと猿の子

【活動概要】

平成21年活動開始、団体構成員1675名。

公募作品をもとに絵本を制作。絵本の施設への配布、朗読会やワークショップの開催、行政が開催するイベントにも積極的に参加している。

【評価理由】

次代を担う子ども達のために絵本を作成し、小児科医院や児童福祉施設へ無償提供するほか、絵本作成者の育成、絵本に係る自社独自の募金「きらきら未来こども基金」の設立など、絵本に関する活動を通し、子どもの育成支援に大きな貢献。

「きらきら未来こども基金」で集めた募金を未来の子どもたちの健やかな成長や夢に貢献する団体に全額送金している。

平成21年の開始以来、20万冊以上の絵本が子どもたちの下へ届けられている。



入賞された絵本作成者



岩をテーマにしたワークショップ